イノシシ被害でお困りの方へ

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

＼イノシシ被害STOP！／

防護柵設置のコツ

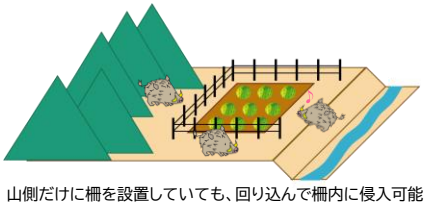
電気柵編

イノシシ被害の対策に有効な**電気柵**について、
柵を設置する際の原則とポイントを紹介します。

より詳しい内容を知りたい方は、
右記HPに掲載しております
マニュアルをご覧ください。

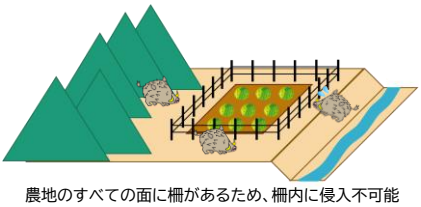
原則 01　農地をすべてぐるっと柵で囲う

× **悪い例**　河川側に柵を設置していない



山側だけに柵を設置していても、回り込んで柵内に侵入可能

○ **良い例**　農地全面に柵を設置している

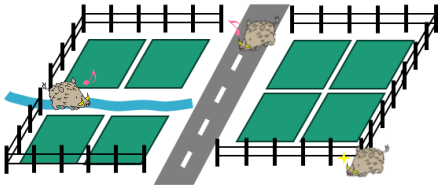


農地のすべての面に柵があるため、柵内に侵入不可能

イノシシは柵の無い所から農地に侵入します。山側だけでなく、道路、河川、水路、傾斜地側など、すべて囲ってください。

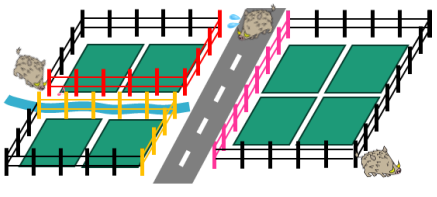
原則 02　水路や道路を横断することで柵を途切れさせない

× **悪い例**　柵が途切れている箇所がある



水路や道路にできた柵の切れ目から農地へ侵入可能

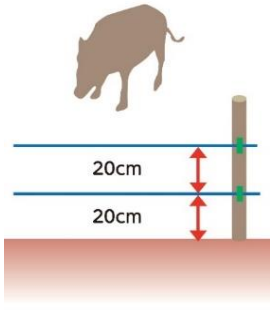
○ **良い例**　農地すべてが柵で囲いきれている



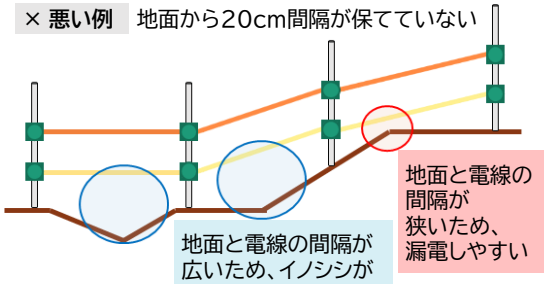
水路や道路沿いにも柵があり、農地へ侵入不可能

水路や道路で柵が途切れていると、イノシシはそこから侵入します。柵が途切れ無く、農地の周囲を囲いきれる範囲に分けて柵を設置しましょう。

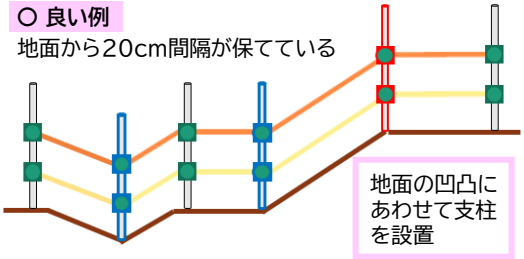
原則 03　電線を地面から20cm、40cmの高さに維持する

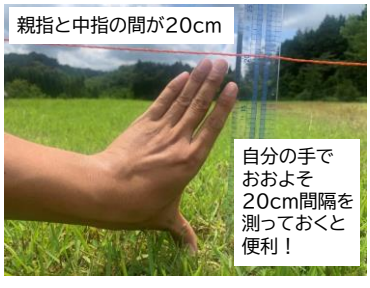


× **悪い例**　地面から20cm間隔が保てていない



○ **良い例**　地面から20cm間隔が保てている

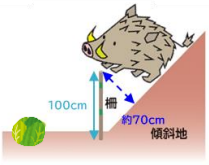




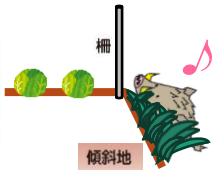
イノシシに電気ショックを与えるには、イノシシが鼻で電線に触る必要があります。
そのためには、電線を地面から20cm、40cmの高さに設置することが重要です。
地面の凹凸にあわせて支柱や電線を追加し、電線の高さを維持しましょう。
※このチラシをA4用紙に印刷しているならば、横の長さが21cmです。

原則 04　傾斜地（斜面）から離して柵を設置する

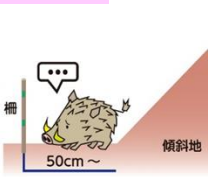
× 悪い例　傾斜地の境界に柵を設置　　○ 良い例　傾斜地の境界から離して柵を設置



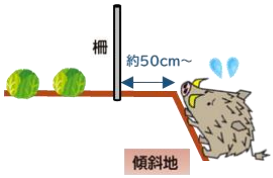
柵を乗り越えられやすい



柵外側の管理が難しい



柵を乗り越えられにくい



柵外側の管理がしやすい

傾斜地の境界に設置した柵は、管理が難しく、イノシシに侵入されやすくなります。人が歩ける程度の幅を確保しましょう。

原則 05　農作物から離して柵を設置する

× 悪い例　農作物が柵の外にはみ出している

柵の外側で農作物を食べることが可能

○ 良い例　柵と農作物の間に余裕がある

柵と農作物が遠いため、柵内への侵入を諦めやすくなる

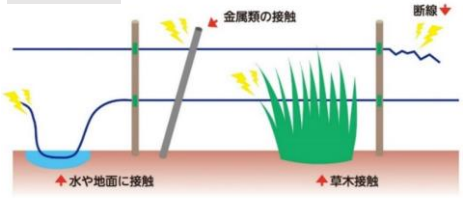
・人が余裕をもって歩ける幅、草刈りなどの管理がしやすい幅を確保する

・除草剤や防草シートも活用する

柵の外からの食害や、漏電の原因になる場合があります。草刈りなどの管理もしやすいように、作物と柵の間に幅を確保しましょう。

原則 06　柵設置後は、定期的に点検・維持管理作業を行う

× 悪い例　漏電している状態を放置する



○ 良い例　こまめに電圧をチェックし、漏電箇所があれば補修する

柵設置後は、<u>こまめに点検・補修・電圧のチェック</u>を行いましょう。また、下草の刈払いなどを行い、漏電に気をつけましょう。

設置する際に気をつけるポイント

ポイント 1　電気が流れていない状態を作らない

・電気柵を設置したら、24時間365日、常に電源ON！

・夜だけ電気を流すモードは使わない！　明るい時間にもイノシシは出没する

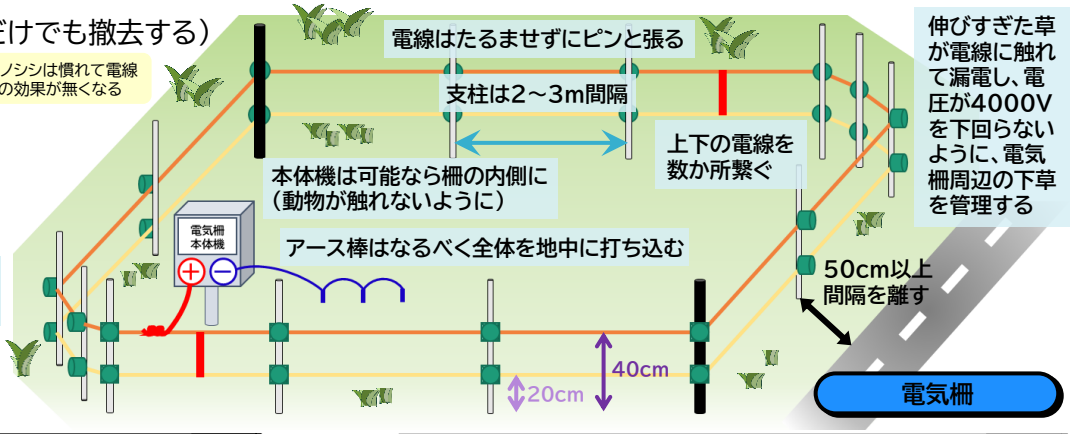
・農作物が無い時期も電源は切らない！
（電源を切るなら電線だけでも撤去する）

電気が流れていない電線を放置すると、イノシシは慣れて電線を触らずに潜り抜けるようになるため、柵の効果が無くなる

ポイント 2　電圧4000V以上を維持する

・イノシシ対策では最低4000V以上を確保する

・草の接触や地面の状態によって電圧が下がることがあるため、7000V程度出ていれば安心



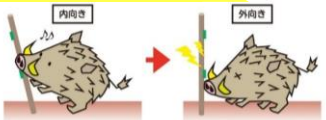
角は内側に力がかかるため、
・太い支柱を使う
・支柱を複数打ち込む
・支柱を補強する

電線の連結部分は隙間ができないように巻きつける

隙間が焦げている　　隙間なく漏電なし

ポイント 3　ガイシは外向きに設置する

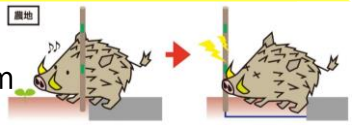
電線を支柱に固定するガイシは、柵の外側（イノシシ側）に向けて設置する



支柱を押し倒せる　　支柱を触っても感電する

ポイント 4　道路や舗装面から離して設置する

舗装道路、砂利道は電気を通しにくいため、50cm以上離して設置する



電気ショックを感じにくい　　地面の上なら効果あり

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター
〒690-3405　島根県飯石郡飯南町上来島1207
E-mail（担当科）：chusankan-choju@pref.shimane.lg.jp
担当科：鳥獣対策科
TEL:0854-76-3818
FAX:0854-76-3758